

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和5年2月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、当初予算案の概要についてであります。

このことについて一部の委員から、一般会計予算が中村知事就任以降で最大規模となる中、土木部における予算案の概要はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県政の重要課題である西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策に引き続き重点的に取り組むほか、交通ネットワークの整備等を着実に推進するため、約588億円の投資的経費を計上し、対前年度当初比25億円の増となっている。

具体的には、防災・減災対策として、肱川水系の堤防整備や山鳥坂ダム建設事業促進のほか、大規模災害に備えた道路や河川、港湾、砂防施設等の整備を推進することとしている。また、大洲・八幡浜自動車道の整備やJR松山駅付近の高架化を引き続き推進するほか、松山市と連携した公営住宅の集約整備や、久万高原庁舎の建替えにも取り組むこととしている旨の答弁がありました。

第2点は、建設業における担い手対策についてであります。

このことについて一部の委員から、建設産業の担い手対策に係る事業の概要はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、社会インフラ整備を重点的かつ着実に推進するとともに、災害発生時に最前線で作業を行う建設産業の災害対応力を保つため、担い手確保が重要な課題であり、働き方改革や生産性向上を通して産業の魅力向上を図るアクションプログラムに基づき、その取組みを加速している。

具体的には、建設業担い手確保等総合支援事業として、ICT施工推進と人材確保への取組みに要する経費助成等を、また、建設業魅力向上緊急対策事業として、建設産業の役割を中学生等に向けてPRする動画や新聞の制作等を継続するほか、新たに魅力ある職場環境づくりを支援するガイドブック制作とセミナーを開催することとしている旨の答弁がありました。

第3点は、大洲・八幡浜自動車道の整備についてであります。

このことについて一部の委員から、大洲・八幡浜自動車道の整備状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、大洲・八幡浜自動車道は早期解消を目指している「3つのミッシングリンク」の一つで、今年度末に八幡浜道路が開通する予定である。

今後は、夜昼道路の整備に重点的に取り組み、新夜昼トンネルの着手に向け、まずは大洲市側と八幡浜市側の両側から土工や橋梁等の工事を進めていくこととしている。

また、続く大洲西道路についても、用地調査等を進めており、橋梁の詳細設計にも着手する予定である。

大規模災害発生時の広域避難や緊急輸送の軸となる「命の道」として、また、地域産業活性化や観光振興に資する「地方創生の道」としての役割を担うものであり、一日も早い全線開通に向け全力で取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・流域治水等の取り組み
- ・カーボンニュートラルポート形成に向けた取り組み
- ・JR松山駅付近連続立体交差事業

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。